



開基120年記念特集

No.5

「北緯45度の大地に生きる動物たち」

撮影・文：富士元 寿彦氏

「水辺の青い宝石 カワセミの水浴」



盛夏の昼下がり、沼岸に設営したブラインド（撮影用の小型テント）の中で待機していた時のことです。小魚を捕食しにやって来たカワセミが、狩りではなく面白い行動を始めました。

水中に何回もダイビングを繰り返す水浴です。飛び込んだ次の瞬間には、飛び上がっています。ほとんどの鳥たちは体を半分ほど水に浸け、翼を羽ば

たかせて水浴びをします。なので、この素早いダイビング水浴は、カワセミ独特の水浴び方法になります。

六月定例俳句会作品

- 六月や彩り早し北大地
- 丘に牛六月風の甘かりし
- 六月や忘れずに来し葉売り
- 北辺の花の六月呼ぶように
- 六月に征きし少女や涙雨
- 六月の無人駅から人が出て

幌延ほおずき俳句会

- 横山 貞雄
- 富樫 堅一
- 佐藤 光朗
- 富樫とも子
- 熊谷千恵子
- 田中 徹男



わが家のエンジェル



富樫 凜咲ちゃん
 (平成29年11月15日生・下宿)
 お父さん 悠輔さん
 お母さん 瞳さん

わが家の第2子、長女の凜咲です。お兄ちゃんのおもちやで遊んだり、つかまり立ちをして元氣よく遊んでいます。いつもニコニコ、優しい子に育つてね。

ほろのべの裏窓

●本州ほどではないにせよ暑苦しいと感じる日が増えましたが、同時に6月の後半から7月にかけて雨や風が強い日が多く、天候により影響が出たイベントもありました。特に幌延神社祭は、目玉となる神輿渡御が中止となってしまう、残念に思った方もいたかと思えます。8月の名林公園まつりこそ、快晴で迎えられることを祈っています。

■さて今月号の表紙に掲載したダウン・ザ・テッシーオーペックに、今回初めて行ってきたのですが、百人を超える参加者がカラフルなウエアとヘルメットを身に着け、自分よりも大きいカヌー(こちうもカヌー)に乗り、一斉にスタートする様子は、圧巻でした。そして参加者の皆さんの表情のいいことと云ったら！まさに「写真映え」です。もつと言え、これで晴れて水面が青色だったなら…。やはり、イベントのときは晴れていてほしいものです。

●広報へのご意見、ご要望をお寄せください
 総務財政課総務グループ
 電話 5-11111 / 告知端末機 5-8811



まっこのき (平成30年6月末日現在) ※ () 内は前月比

男	1,201	(±0)
女	1,163	(-3)
計	2,364	(-3)
世帯数	1,254	(-5)